

〔曲名〕 Rimenbranze del Sannio

サンニオの思出

〔曲種〕 Marcia Sinfonica

〔作曲者〕 G.Manente

ジュゼッペ マネンテ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

作品321番の交響的行進曲、サンニオは作者の生地で、その親しい友ラファエーレ・デ・レンシ氏に贈られている。

この曲と前後して作曲されたアブルッツォとモリーゼ、或は愉快的仲間等はいづれも故郷と往時を回想したもので後期のもの。

交響的行進曲（Marcia—Sinfonica）は作者が好んで名付けたもので転調、対位旋律の駆使に縦横の手腕を發揮したものである。

従って通常のマンドリン合奏曲の行進曲と異り器樂的な面白さを満喫する。

本曲は1968年12月同志社大学マンドリンクラブの第73回定期演奏会に初演された。

作者マネンテとは戦前筆者と文通したことがあり、

色々自筆譜も贈られているので本百曲選完結後別にマネンテ曲集（収録以外の）として頒布しておきたいと思っている。

本曲百選もあと6曲をもって百曲に達する。

第一集より全部御購読の方には何か記念のものを差上げたいと考えている。

1971年12月7日発行

イタリアマンドリン百曲選第14集より